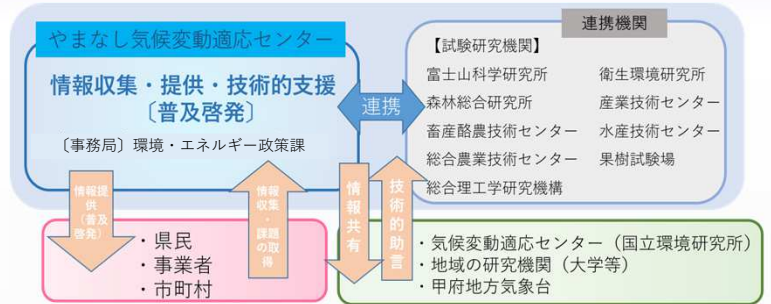


# やまなし気候変動適応センター通信 第1号

令和3年2月、県内における気候変動の影響や適応に関する情報拠点として、やまなし気候変動適応センター（事務局：山梨県環境・エネルギー部環境・エネルギー政策課）を設置しました。センターでは、定期的に気候変動の影響や適応に関する情報を発信していきます。

## センターの役割

- 気候変動影響及び気候変動適応に係る情報の収集及び整理
- 研究機関等との連携及び情報共有
- その他適応センターの目的を達成するために必要な事項に関する業務



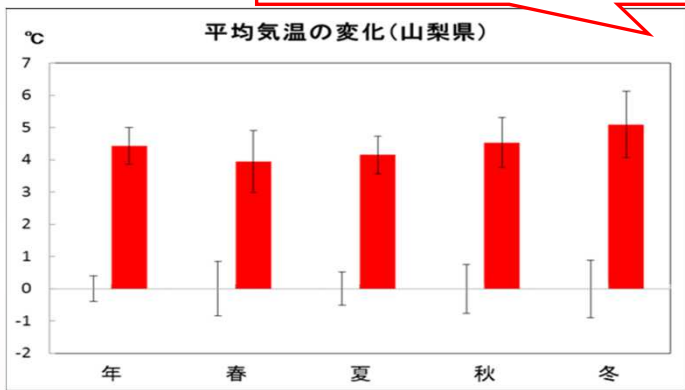
## 山梨県の将来予測について

甲府地方気象台では、温室効果ガスの排出削減対策が今後ほとんど進まず、地球温暖化が最も進行する場合を想定した山梨県の気温と降水の予測（21世紀末）を公表しています。

今回は、その内容について抜粋してご紹介します。

### I. 平均気温

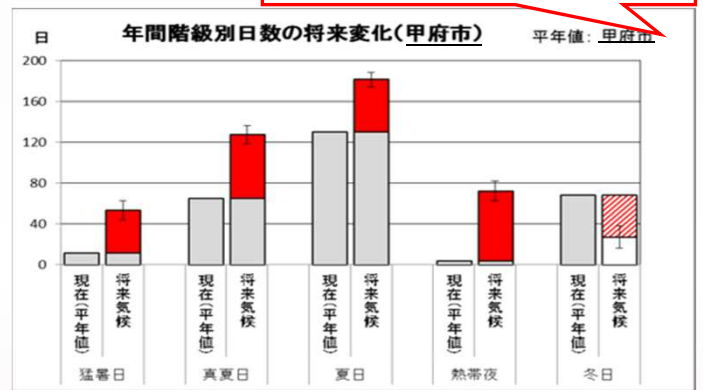
年平均気温が約4℃上昇！



各グラフの説明  
赤色の棒グラフは将来気候の現在気候との差を表す。  
黒細線は年々変動の標準偏差（左：現在気候、右：将来気候）を示す。

### II. 猛暑日（日最高気温36℃以上）

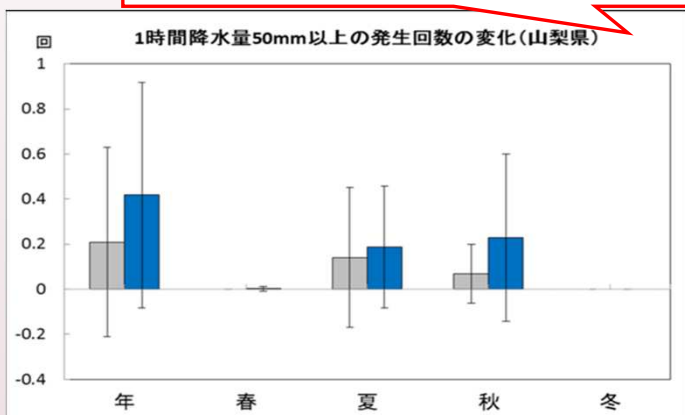
猛暑日が約40日増加！



グラフの説明  
灰色の棒グラフは平年値、赤色は将来気候の現在気候との差を表す。  
黒細線は年々変動の標準偏差（左：現在気候、右：将来気候）だが、右列のグラフの灰色の棒グラフでの黒細線は現在気候のアメダス地点間の標準偏差を示す。

### III. 滝のように降る雨（1時間降水量50mm以上の雨）

滝のように降る雨の発生が約2倍！



グラフの説明  
灰色の棒グラフは現在気候、青色は将来気候を表す。  
黒細線は年々変動の標準偏差（左：現在気候、右：将来気候）を示す。

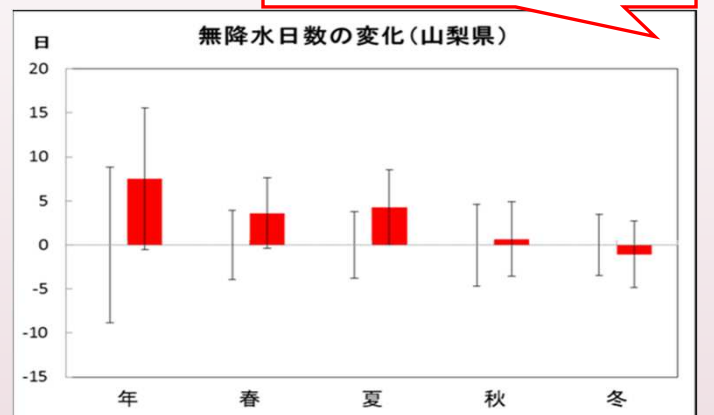
詳細はこちらをご覧ください。

「山梨県の21世紀末の気候」[https://www.jma-net.go.jp/tokyo/shosai/umi/kikouhenka/leaflet2018/pdf/yamanashi\\_l2018.pdf](https://www.jma-net.go.jp/tokyo/shosai/umi/kikouhenka/leaflet2018/pdf/yamanashi_l2018.pdf)

〈出典：東京管区気象台 気候変化レポート 2018—関東甲信・北陸・東海地方— (<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/umi/kikouhenka/index.html>) 〉

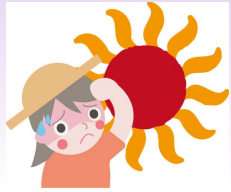
### IV. 降水の無い日（無降水日）（日降水量1mm未満）

降水の無い日が増加！



グラフの説明  
赤色の棒グラフは将来気候の現在気候との差を表す。  
黒細線は年々変動の標準偏差（左：現在気候、右：将来気候）を示す。

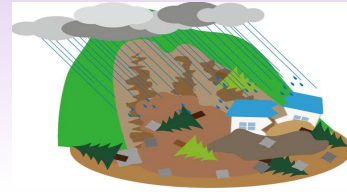
## 異常気象の頻発（地球温暖化が要因！？）



連日の  
真夏日



相次ぐ台風  
の接近・上  
陸



梅雨前線の  
停滞等によ  
る大雨

出展：「気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）」

## 気候変動の影響について

気候変動の影響は、すでにいろいろな分野で現れており、将来はさらなる気温の上昇や大雨の頻度の増加により、様々な影響が生じる可能性があります。

本県では、県内ですでに現れている、若しくは将来生じると予測される影響について、以下の7つの分野で適応策を実施します。



①農業  
林業



②水環境  
水資源



③自然生態系



④自然災害



⑤健康



⑥産業  
経済活動



⑦県民生活

## 適応策の例

気候変動によりどのような影響が生じるかを前もって知り、備えていくことが大切です。

例えば、熱中症を予防するためにこまめな水分補給をしたり、災害に備えて防災情報や避難場所を確認したり、高温耐性をもった品種を育成することも適応策の一つです。

健康		自然災害・沿岸域	
現状・将来予測	考えられる適応策	現状・将来予測	考えられる適応策
<p>熱中症</p> <p>ヒトスジシマカが媒介するデング熱</p>	<p>こまめな水分補給 エアコンの適切な使用</p> <p>× 水たまりを作らない工夫 ○ ヒトスジシマカへの注意</p>	<p>土砂災害</p> <p>浸水被害</p>	<p>ハザードマップ（洪水被害予測地図）の確認、避難経路の確認</p> <p>治水安全度向上のためのハード整備</p> <p>雨水貯留槽など</p>
農林水産業			
現状・将来予測	考えられる適応策		
<p>品質低下 収量低下</p> <p>コメ（白未熟粒）      リンゴ（日焼け）</p> <p>その他にも様々な農産物に影響が現れています。</p>	<p>高温耐性品種への変更、作付け時期の調整</p> <p>品質低下防止のための日よけ設置</p>		

出展：「気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）」

### やまなし気候変動適応センター

事務局：山梨県環境・エネルギー部環境・エネルギー政策課

電話：055-223-1506    F A X：055-223-1636    メール：[yccca@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:yccca@pref.yamanashi.lg.jp)

H P：<https://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-ene/trkioucentar/top.html>